



開校50周年

七小だより

令和4年4月6日
国立市立国立第七小学校
校長 小畑 行広
NO. 1 4月号



— 開校50周年の佳節の年 — 令和4年度の教育活動が始まります！



校長 小畑 行広

昭和47年（1972年）の4月に、国立第七小学校は開校されました。令和4年（2022年）の本年は、その年から数えて50年の時を経ています。時代も、昭和から平成へ、平成から令和へとなり、3つの時代において本校の歩みが綴られていることは、誠に美しく素晴らしいことであり、本校の卒業生も、令和3年度末で4500人以上となっています。様々な分野で活躍されている方々も多くおられ、本校の教育活動の底辺には、人材を育成していく基本的な取組が展開されてきていることを物語っています。

また、本校が地域の方々からも大切にされてきていることは、本校の関係者の皆様方には、周知のことであり、50周年から60周年へと向かう本校にとって、かけがえのないつながりです。15代校長として着任し、2年目を迎える今年度において、開校50周年という記念すべき佳節の時に巡り合えたことに不思議な縁を感じると共に、これまでの歴代校長先生や教職員の皆様、本校の児童を見守り、育てていただいている見守り会や地域の皆様、そして、保護者の皆様に安心していただけるよう、今年度も懸命に努めてまいります。

さて、令和4年度の教育活動を始めるにあたり、いくつかお伝えをさせていただきます。

まず、今年度より、「ことばの教室」に、難聴に対応した「きこえの教室」が併設し、開級されます。本市においては、平成4年度まで開級されておりましたが、改めて開級されることとなりました。本校においては、「きこえとことばの教室」という名称で指導をしておりますので、ご承知おきください。

次に、昨年度開設されました、特別支援学級(情緒固定学級)くるみ学級についてです。

くるみ学級は2年目を迎え、本学級を希望される児童や保護者の方も多く、今年度から入級する児童が増えました。これまでの2学級から3学級となり、1学級増えます。教員と指導員についても3名から4名となります。教室においても1つ増やす必要が出てきたため、教室配置を変更し、イングリッシュ・ルームを教室として使用いたします。そのため、英語の学習は、各教室にて実施いたします。

また、くるみ学級の児童に寄り添った教育活動を行うためには、3学級の教室を並べて指導する必要があるため、そのためには、新5年生の教室を移動させる必要があります。イングリッシュ・ルームを教室として使用するためには、現在設置されていない棚や黒板などの工事が必要となります。できるだけ早く体制を整えたいところですが、工事については今年度の夏休みとなるため、5年生の教室として、2学期から使用可能となります。そこで、くるみ学級がある3階の教室配置については、以下のようにさせていただきます。

年度当初は、現在のくるみ学級の指導において、現在の教室とイングリッシュ・ルームも活用して、指導を行います。新5年生については、昨年度と同じ5年生の教室で学習を行います。

2学期以降については、くるみ学級並びに新5年生の児童や保護者の皆様には、誠に申し訳ありませんが、5年1組・2組の教室をイングリッシュ・ルームの教室側に移動させていただき、くるみ学級の3教室が並ぶ形に変更させていただきます。関係の保護者の皆様には、本校の教育活動のスムーズな推進と発展のために、ご理解とご協力をお願いいたします。

本校の桜の花も今を盛りと咲き誇っています。しかし、その花を咲かせるためには、冬の厳しい寒さを乗り越えなければなりません。今年度も、コロナ禍の教育活動となりますが、校庭の桜のように厳しい状況を様々に乗り越えながら、できることをしっかりと見極め、実践し、子供たちのよりよい学びとなるよう、学校運営を行ってまいります。引き続きのご理解とご協力を、どうぞ、よろしく願いいたします。

